

子供と共に考える進路(キャリア)

千葉市教育委員会

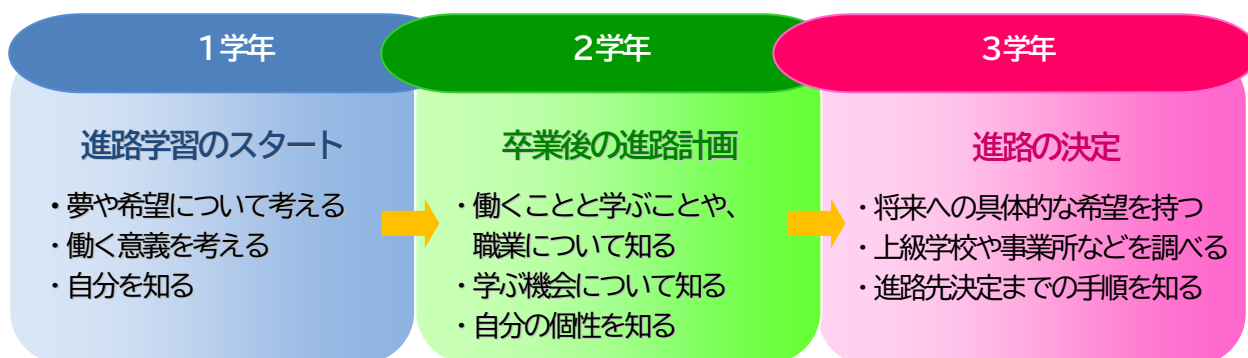
子供たちは中学生になると体や心が目に見えて成長し、頼もしくもなり、将来が楽しみになってきます。しかし、来年の進路(キャリア)の選択・決定のことを考えると、どうすればよいかと不安になることもあるでしょう。

子供の進路(キャリア)について、「保護者としてどのように関わっていけばよいのか」という視点で、この資料を作成しました。

将来の夢や生き方を考える進路学習

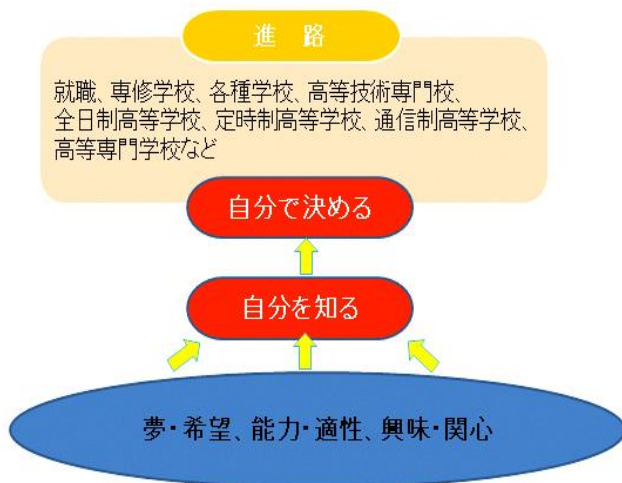
子供たちには、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、社会的・職業的自立を目指し、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることが必要であり、これは生涯にわたりあらゆる機会を通じて行う必要があります。

学校では、夢や希望の実現へ向けて、生徒が自らの生き方を考え、将来の進路設計ができるように進路の学習を進めています。



Q1

進路の選択はどのようにしたらよいのでしょうか？



A1 一般的に中学校卒業後の進路というと「高等学校への進学」、すなわち「進学」と考えられているところがあります。その結果、「入学できそうな学校選び」となる傾向がありました。このため、本人の興味・関心や特性等が軽視され、進路先での目標を見出せず、多くの中途退学者が出るなどの問題も起きています。本来、進路選択・進路決定は夢・希望、能力・適性(特性)、興味・関心等を総合的に判断してなされるべきものです。

現在そして将来にわたって、子供たちが、真の「生きる力」を身に付けるために、「入学できそうな学校」ではなく、将来の進路を見据えた主体的な進路選択、「行きたい学校・行きたい職場」の選択が大切となります。

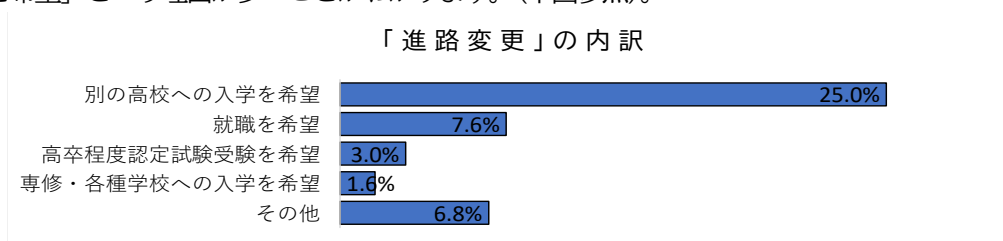
子供の成績が気になります。

保護者としてどのような心構えが大切でしょうか？

A2 保護者のこうした不安は、おそらく「勉強ができなければ将来困ることになるから」という親心に根ざすものなのでしょう。

一方、中学2年生は、人間として成長する大切な時期です。学校行事や生徒会活動、部活動及びボランティア活動などにも積極的に参加することによって、豊かな人間性や強い気力・体力を育てることが大切です。学習にも前向きでなければなりません。テストの点数や、成績の順位のみには期待をかけるのではなく、たくましく、おおらかに、そして子供個々の可能性が充分発揮されることを期待しましょう。

また、昨年度、全国では約43,000人、千葉県では900人近くの生徒が高等学校を中途退学しています。令和4年度全国の高等学校での状況は、「進路変更」が43.9%、「学校生活・学業不適応」が32.8%と多く、次いで「学業不振」が6.0%と続いています。理由の内訳を見ますと、「別の高校の入学を希望」、「就職を希望」という理由が多いことがわかります。(下図参照)。

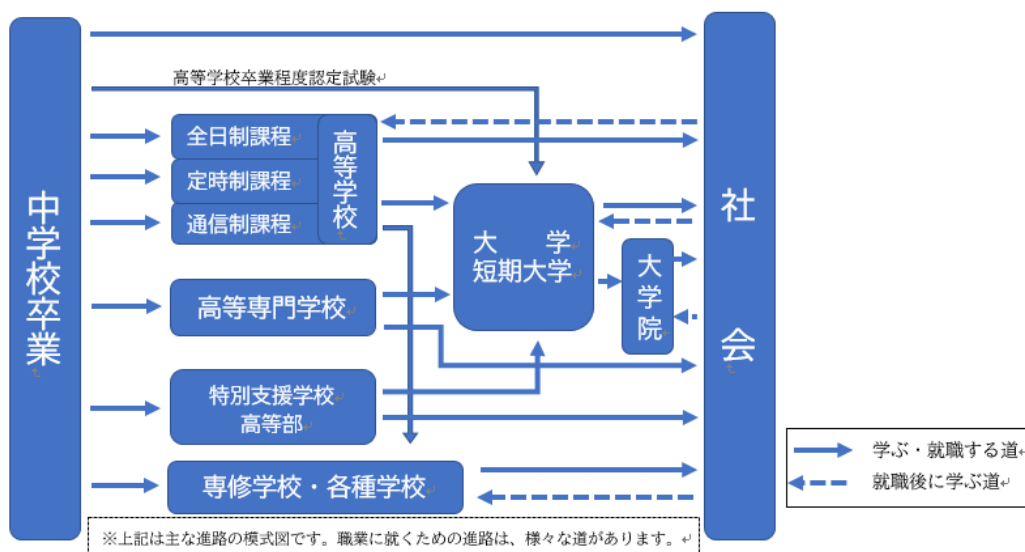


令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」(文部科学省初等中等教育局児童生徒課)
保護者としては子供が興味・関心を持ち、様々なことにチャレンジし、自己の能力や適性を伸ばせるような進路選択をするように、事前に十分検討するなど、適切な支援をしていくことが大切です。

中学校卒業後の「学ぶための制度と機会」には

どのようなものがあるのでしょうか？

A3 中学校を卒業してからも勉強を継続するには、様々な方法があります。「学ぶための機会」は、上級学校への進学ばかりではなく、広い意味では「働くこと」も学ぶことの一つに含まれます。中学校を卒業した後は、次のような学ぶ機会があります。



高等学校卒業程度認定試験は、様々な理由で、高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験です。合格者は大学・短大・専門学校の受験資格が与えられます。また、高等学校卒業者と同等以上の学力がある者と認定され、就職、資格試験等に活用することができます。

Q4

子供は自分の将来について迷っているようです。子供の将来

の夢や希望に対して保護者としてどうしたらよいのでしょうか？

A4 2年生になると視野が広がり、考え方が深まる反面、将来についての悩みを持つことも多くなってきます。特に、この時期の子供が自己をじっくり見つめ、夢を大きくふくらませ、その実現に向けて挑戦する意気込みを持てるようにすることが大切です。子供がしっかりと自分自身と向き合い、将来に夢や希望を持って、何事にも意欲的に挑戦できるように導いていきたいものです。

そこで、保護者として、子供の特性をよく見つめ、将来の夢や希望をしっかりと受け止めてあげてください。子供の将来について共に夢を語り合い、励ましの言葉をかけることにより、子供は夢の実現に向けて歩み出すことでしょう。

Q5

職業体験学習はどのような意義があるのでしょうか？

A5

1 職業体験学習とは

生徒が事業所などの職場で働くこと、働く人による講話や出前授業を通じて、実際に仕事を体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

2 職業体験学習が求められる背景

今の子供たちには、生活や意識の変容を促す豊かな体験、学校から社会への移行をめぐる様々な課題への対応、望ましい勤労感、職業感を育む体験的な学習が不足しているからです。

3 職業体験学習の必要性

職業体験学習を通して、直接働く人と接することにより、生徒は実際的な知識や技術に触れ、学ぶことや働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感できるものと思われます。また、自分の人生を主体的に生き、物事を選択・決定する態度や意思・意欲等を培うことにもつながる貴重な体験学習と言えます。

4 職業体験学習の意義

- 望ましい勤労観、職業観の育成
- 学ぶこと、働くことの意義の理解、及びその関連性の把握
- 啓発的経験と進路意識の伸長
- 職業生活、社会生活に必要な知識、技術・技能の習得への理解
- 社会性の育成、社会奉仕の精神の醸成

Q6

高等学校には様々な学科やコースがあると聞いていますが、

どのようなものがあるのでしょうか？

A6 社会の仕組みが大きく変わってきており、就職の際には、知識・理解力だけではなく、創造性豊かで、個性を十分に発揮できる人材が求められるようになってきています。つまり、「どこの学校を出たか」よりも、「何を専門に学んだか」、「人と違って何が優れているか」が問われる時代です。

大学や高校でも様々な学部や学科を設置し、社会や学生の期待やニーズに応じた学習ができる環境を整えてきています。

① 特色ある学科の設置例

普通科、農業科(園芸、畜産、生産技術、生産流通等)、工業科(機械、電気、建築、工業科学、情報技術、インテリア等)、商業科(商業、情報処理等)、水産科、家政科(服飾デザイン、調理国際等)、看護科、理数科、体育科、英語科、国際教養科、福祉教養科、総合学科、スポーツ科学科等

② 普通科の特色あるコース設置例

英語コース、国際教養コース、情報コース、観光ビジネスコース、スポーツ健康コース、福祉コース、環境コース、動物コース、音楽コース等

公立高等学校入学者選抜の制度は

どのようになっていますか？

- A7 前期・後期の2回に分けて実施されていた千葉県公立高等学校入学者選抜を、令和3年度入学者選抜から一本化しています。
以下に、令和7年度入学者選抜について掲載します。

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜（令和7年4月入学生）について

(1) 一般入学者選抜（本検査）

ア 日程

検査日：令和7年2月18日（火）及び19日（水）

発表日：令和7年3月4日（火）

イ 検査内容

第1日 国語（50分）（聞き取り検査を含む）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）

第2日 理科（50分）・社会（50分）・各高等学校が定める検査

※各高等学校が定める検査については、【面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題、その他の検査】のうちから一つ以上を実施する。

※定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。（教科数は各高等学校が定める。）

ウ 選抜方法

「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「学力検査の成績」、「各高等学校において実施した検査の結果」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(2) 特別入学者選抜（本検査）

- ・海外帰国生徒の特別入学者選抜

検査日：令和7年2月18日（火）

検査内容：国語（50分）（聞き取り検査を含む）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）

- ・外国人の特別入学者選抜、中国等帰国生徒の特別入学者選抜、成人の特別入学者選抜

検査日：令和7年2月18日（火）

検査内容：面接及び作文（外国人の特別入学者選抜は、いずれも英語又は日本語による）

- ・連携型高等学校の特別入学者選抜

検査日：一般入学者選抜と同じ日程を基本として実施する。

検査内容：連携型高等学校が定める。

※特別入学者選抜それぞれの発表日は令和7年3月4日（火）です。

(3) 地域連携アクティブスクールの入学者選抜（本検査）、通信制の課程の一期入学者選抜（本検査）

検査日：令和7年2月18日（火）及び19日（水）

通信制の課程の一期入学者選抜は2月18日（火）のみ

検査内容：地域連携アクティブスクールの入学者選抜は、各高等学校が定める。

通信制の課程の一期入学者選抜は、現行の内容（面接、作文）に準じて実施する。

発表日：令和7年3月4日（火）

※追検査について

対象者：やむを得ない理由により本検査を全部又は一部受検できなかった者が対象となる。

検査日：令和7年2月27日（木）

検査内容：本検査に準じて実施する。

検査場所：志願した高等学校で実施する。

発表日：令和7年3月4日（火）（本検査の結果と併せて発表）

○詳細は令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項で確認してください。

○生徒配付資料○

本市では、市内中学校の先生方が作成した以下の資料を用いて進路学習を進めています。ご家庭でお子さんと進路の話を進めるときに大いに役立ちます。ご活用ください。

■ 1・2年生用 キャリア教育ノート 「わたしの夢」

自分のことや生き方を考えるためのワークシートや進路学習に必要な資料を掲載。

■ 3年生用 進路選択の手引 「ハロー マイ フューチャー」

進路学習の考えをまとめる学習ノートと進路先決定までの手順や通学区域、上級学校一覧などの資料を掲載。